

令和3年 5月

先月、私の写真展についてブログで紹介しました。次の予定について聞かれることが多いのですが、正直なところ、まだ何も考えていません。でも、写真を撮るといえば、朝倉はともフォトジェニックな場所です。特に季節の変わり目には、その色彩が大きく変わります。春はもちろん、桜の季節です。あちらこちらで桜が咲く様子は、日本では当たり前なのかもしれませんが、外国人から見ると実に見事で、「これぞ日本」と感じさせてくれる印象的な景色です。ピンクや白の桜の後には、紫の藤が咲き、それから色とりどりのアジサイの季節になります。花は風景に彩りをもたらすだけでなく、季節の移り変わりを感じさせ、素晴らしい自然を印象づけてくれます。

写真家にとって、花は写真を撮るのに適した被写体です。しかし、花の写真を上手に撮るのは難しいのです。なぜかという点、構図が混みすぎてピントが合わなかったり、逆にシンプルすぎるとつまらなくなってしまうたりするからです。ですから、人やペットを主役にして花を背景にするとか、花を主役にするために他の背景を使うなどの工夫をすると良いと思います。花の写真を撮るときには、天候も重要な要素となります。晴れた日は、花に強い影ができて細部が見えなくなってしまうので、花の写真を撮るのにはあまり向いていません。少し曇った日がベストです。また、花に近づいてみたり、背景をぼかしたり、色々な方法で花を表現すると面白いと思います。朝倉市には、伝統的な建築物と共に桜を楽しめる秋月や甘木公園など、花々を楽しむ名所がありますから、そうした場所を探索してインスピレーションを得るとよいでしょう。

何よりも大切なのは、「もっとやってみよう！」という気持ちです。デジタルカメラでもスマートフォンでも、何枚撮ってもお金はかかりませんから、いろいろなアングルや構図を試してみてください、その中からあなたのベストショットを見つけてください！

